

令和8年度 エルモ古田 事業計画書

1 今年度の目標

- (1 事業目) 地域での認知度を高める。また、歴史の継承と地域の魅力の向上にもつなげる。
- (2 事業目) 「冒険あそび場ワンダふるたパーク」の開催。
- (3 事業目) 防災キャンプの開催。また、実際に体験してもらうことで、万が一、災害に遭遇しても慌てることなく対処できるようになってもらう。
- (4 事業目) 町民運動会の開催。地域の一体感を生み、協力体制が取れる状態にする。
- (5 事業目) 夏祭りの開催。伝統芸能『きそん』の継承と、多世代が交流できる場づくり。
- (6 事業目) 身近に相談できる人や場所のない、お母さん・お父さんが抱えている、出産・育児に関する悩み事を気兼ねなく相談できる場所を設けることで、安心して出産・子育てできる環境を整える。また、ふるふるで知り合ったお母さん同士の繋がりを、新たな地域活動の担い手の創出につなげる。
- (7 事業目) 通年に於いてイベントを行い、子ども会への加入率促進を図り、地域全体で子育てに関わるまちづくりを推進する。また、年3回程度のイベントを開催し、加入率の向上を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	西国街道イベントプロジェクト	(7)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	古田学区全域	
(3) 参加者数	500 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 エルモ古田	
4 取組内容	昨年度は、西国街道イベントプロジェクトとして、体協や青年会・子ども会といった若い世代や地元住民の皆さんを中心に、「謎解きゲーム」の開催/西国街道史跡ポイントへの案内板の設置(4ヶ所程度)/古田小学校6年生の調べ学習の支援(講師として支援)/段ボール甲冑を製作・着用しての発表&大名行列の実施等々を行った。数年先には地域が一丸となって、西国街道での大名行列の実現を目指す。 今年度は、小学校のグラウンドにスクリーンを設置して「星空映画観賞会」の開催を企画中である。また、昨年度に引き続き、西国街道史跡ポイントへの案内板の設置個所の追加(4ヶ所程度)を予定している。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域が一丸となって行うイベント等が少なくなっている中、イベントの開催に向けて地域の住民の皆さんが顔を合わせて話し合うことで、地域の一体感が醸成できる。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 若い世代に企画段階から参画してもらうことで、地域活動に主体的に参加する機運の醸成が図れる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ワンダふるたパーク	(7)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年5月31日 ～ 令和9年3月14日	
(2) 実施場所	古田学区全域	
(3) 参加者数	800 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 このまちにくらしたいプロジェクト	
4 取組内容		
中学生がつくる公園活用イベント「冒険あそび場ワンダふるたパーク」の開催（年4回）		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） このプロジェクトは、中学生が主体となって地域住民とともに、人口減少などの社会課題と向き合い、住み慣れた地域で多様な世代が共生できる持続可能な将来像を描き、その為に今、住民自身でできる行動を起こすこと（住民自治）を目指し、この取り組みの活動成果を生かして、社会に主体的に関わり行動できる人材を育む。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 現在の公園では、価値観や生活スタイルの多様化に伴い、危険や騒音等に伴う様々な規制が利用者を減少させている実態が見受けられていたことから公園のあり方を住民自身で再考するきっかけをつくり、世代をつなぐ地域の居場所として再生することを目指す。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災キャンプ	(7)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月25日 ～ 令和8年7月26日	
(2) 実施場所	古田小学校体育館及びグラウンド	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 エルモ古田、子ども会、体協、青年会、各町内会	
4 取組内容	小学生と保護者が参加する一泊キャンプの中で、災害時(電気、水道等が使えない状態)を想定した内容で、食事はどう作るのか、防災備蓄倉庫には何が備蓄されているのか、すぐに避難できるように防災バックの中には何を準備しておけば良いのか等々、実際に体験してもらうことで、万が一、災害に遭遇しても慌てることなく対処できるようになってもらう。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 防災キャンプを通して、防災意識の向上を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 防災キャンプを通して、普段とは異なる生活を体験することにより、万が一の災害時での避難生活に役立つことに繋げる。また、災害に対する意識の向上が図れ、普段からの備えができるようになる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	町民運動会	(7)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月8日 ~ 令和8年11月8日	
(2) 実施場所	古田学区全域	
(3) 参加者数	300 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 エルモ古田、子ども会、体協、青年会、各町内会	
4 取組内容	地域全体で行うイベントが少なかったため、各町内会を始めとした学区内の様々な組織・団体が協力し合い、老いも若きもが一緒になって参加できる町民運動会を開催する。 (継続事業)	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 幼児から高齢者まで、誰でも参加可能な競技を準備することで、幅広い世代からの参加が見込め、世代間交流が図れる。また、学区内の様々な組織・団体が協力して運営することで、地域の一体感が生まれ、様々な取り組みについても協力体制が取れるようになる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) この取り組みによって、幅広い世代の参加が促され、世代間の交流を図ることができる。 また、普段あまり運動をしない方々にも声掛けすることで、地域住民の皆さんの健康増進を図ることができる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	古江納涼夏祭り	(7)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月22日 ～ 令和8年8月23日	
(2) 実施場所	古江新宮神社	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 古江納涼夏祭り実行委員会（※実行委員会は LMO 連携団体で構成）	
4 取組内容	伝統芸能『きそん』の継承と、多世代が交流できる場づくりとして以下を実施する。 ・伝統芸能『きそん』の技術継承 保存会（高齢層）を講師に招き、小学生へ直接指導を行う。 練習の成果を「古江納涼夏祭り」の本番ステージで披露する。 ・参加のハードルを下げる工夫 伝統曲に加え、子どもに人気の J-POP 曲を盆踊りに取り入れる。 低年齢層が踊りの輪に加わりやすい環境を作り、将来の『きそん』担い手候補となる裾野を広げる。 ・多世代交流の促進 練習から本番まで、子ども・保護者・高齢者が一堂に会する機会を創出し、地域コミュニティの繋がりを強化する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 高齢化により存続が危ぶまれていた伝統芸能『きそん』を一昨年度に復活させたが、この灯を絶やさぬよう、若い世代への確実な技術継承と定着を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 若年層が踊り手を担うことで、地域独自の文化が次世代へ引き継がれるとともに伝統曲と現代曲（J-POP）を織り交ぜることで、幼児から高齢者までが共に楽しむ「顔の見える関係」が築かれ、地域の結束力が向上する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	オープンスペースぷるぷる	(7)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	古田学区全域	
(3) 参加者数	60～80 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 古田地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	核家族化の進行に伴い、身近に相談できる人や場所のないお母さん・お父さんが、出産・育児に関する悩み事を気兼ねなく相談できる場所を、広島市で初めて、助産師が常駐するオープンスペースとして立ち上げる。 専門家による講習会などの行事も行う。 参加対象者：妊婦さん、未就園児とそのお母さん、お父さん 等	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 身近に相談できる人や場所のない、お母さん・お父さんが抱えている、出産・育児に関する悩み事を気兼ねなく相談できる場所を設けることで、安心して出産・子育てできる環境を整える。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 出産・育児に関する悩み事を専門家に相談できるだけでなく、そこに集まった保護者同士が交流することができ、おしゃべりを通してお互いの情報交換や悩み事の解消が図れる。（お互いを支え合う関係性が築ける）	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	子ども会加入促進イベント	(7)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	古田学区全域	
(3) 参加者数	100 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 古田学区子ども会育成協議会	
4 取組内容	現在の古田小学校の児童数に対しての子ども会加入率は15%前後となっており、子ども会の存続が危ぶまれていることから、年3回程度のイベントを開催し、加入率の向上を図る。 ・古田公民館主催の「ワンダふるたパーク」内でフェイスペイントや昔遊びコーナーを開催 ・「きもだめし」の開催 ・入学前の親子を対象に、町歩きを行いながら「通学路の危険ポイント」を一緒に考える等々	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 10年前頃までは、古田小学校の児童数に対しての子ども会加入率は30%程度であったが、現在は15%前後となっており、子ども会の存続が危ぶまれている。 そこで、通年に於いてイベントを行い、子ども会への加入率促進を図り、地域全体で子育てに関わるまちづくりを推進する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子ども会への加入率が向上する。 また、イベントの運営を通して、子ども達の保護者世代と顔見知りになり、新たな地域の担い手の確保に繋がる。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
		該当なし	